

2021年10月20日 第395号

# 憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター  
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)  
<http://www.kyodo-center.jp> mail: [move@zenroren.gr.jp](mailto:move@zenroren.gr.jp)

## 総がかり行動実行委員会 19日行動

### 政治を変える大きなチャンス!

### 市民と野党の共同で政権交代し、歴史を変えよう!

総がかり行動実行委員会は衆議院議員選挙が公示された10月19日夜、「自公政権交代!政治を変えよう!総選挙勝利!10・19国会議員会館前行動」を行い、寒い中600人が参加しました。市民と野党の共闘で自公政権を終わらせ政権交代するため、力を結集したたかっていくことを確認しあいま



した。日本共産党の伊藤岳参議院議員があいさつ。立憲民主党、社民党からのメッセージが読み上げられました。

総がかり行動実行委員会共同代表の小田川義和さん(憲法共同センター共同代表)が主催者あいさつ。「市民連合と4野党の間で、6本柱20項目で政策合意がされ、213の小選挙区で野党統一がされた。憲法・民主主義を破壊する政権を打倒して政治を変える大きなチャンスだ。私たちが歴史を変えよう。市民と野党の新しい政治かアベスガ政

治の継続を選ぶかが問われている。市民と野党の力を結集しうねりを大きくしていこう」と呼びかけました。

沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表の具志堅隆松さんは、「沖縄南部の遺骨の混じる土砂を辺野古の埋立てに使うとは、とんでもない。尊厳が踏みにじられ、二度殺されるようなものだ。衆議院議員選挙候補者あてに、土砂採取計画に関する公開質問を届け、回答を求めている。ご協力をお願いしたい」と訴えました。

イラストレーターの大島史子さんは、「フラワーデモの取り組みをしている。日本は性暴力に甘い社会だ。小田急電車内でのフェミサイド事件でも、国をあげて対策すべきだが今の政権に期待できない」と強調しました。

看護師の宮子あずさんは、「武蔵野市長選挙では野党共闘の松下玲子さんが再選した。公約を守り、きちんと市政を行ってきたからだ。野党共闘の力を確信した。野党候補の一本化は大きな力だ。地域ごとに勝利を勝ち取ろう」と呼びかけました。

戦争をさせない1000人委員会の勝島一博さんが行動提起を行いました。

### 当面の行動

11月3日(水・祝) 総がかり行動 憲法大行動 14時～ 国会正門前

(オンライン視聴を基本に)

11月12日(金) 総がかり行動 ウィメンズアクション 18時～ 有楽町イトシア前

11月18日(木) 総がかり行動 街頭宣伝 18時～ 新宿駅西口

11月19日(金) 総がかり行動 19日行動 18時30分～ 国会議員会館前